



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 56 号 2016/11/15 発行）

◆◆ <<http://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

新しい国際金融調整機構造り

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20161115watanabe.pdf>>

10 月前半、理事長着任後初の出張ということで、ワシントンで開かれた IMF・世界銀行年次総会の関連会合のいくつかに出席してきた。

世界全体の金融が総じてはかばか…

＼2. 三菱東京 UFJ 銀行 中近東エグゼクティブアドバイザー 九門康之 コラム／

中東及びエマージング地域動向把握のための「定点観測」

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2016/20161115kumon.pdf>>

以前住んでいた町や国に一步足を踏み入ると空気の匂いで昔の光景がよみがえってくることがあります。私にとっては、バハレーン空港に到着した時の潮風と乾燥した中東の…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「正念場を迎えているブラジル」 森川央
2. 「不安な様子見 ～トランプ大統領の出方を待つ世界～」 森川央
3. 「アフリカ地域統合の動き」 竹山淑乃

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

≪掲載内容≫

○IIMA Global Market Volatility Index

（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）

○購買力平価グラフ

(ドル円) (ユーロドル) (ユーロ円)

■今月の新着レポート

1. 「2016年の中国不動産市場の動向について

～市場活性化と過熱コントロールの両立に向けて～ 梅原直樹

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_23_j.pdf

2016年の中国の不動産市場では、バブルの懸念と停滞とが同時発生する二極化現象が見られる。沿岸部の大都市と内陸部の中小都市とで分化が起こる中、中央政府は市場予想をうまく管理しながら成長と改革の両立を目指す。新型都市化計画を推進する中で、不動産市場の適切な管理は重要さを増している。

2. 「インド銀行セクターの動向」 秋山文子

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_22_j.pdf

インド銀行セクターの健全性は公的資金注入によって維持可能とみられる。一方、政府と銀行が危機意識を持って改革に挑むようになるには、当該セクターの規模的な成長を待たねばならないであろう。

3. 「資金循環表からみるインドの金融」 山口綾子

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/292_j.pdf

インドでは国連国民所得統計(SNA2008)に基づく資金循環表が公表された。新統計に基づきインドにおける資金の流れの姿を概観。

4. 「成長の基礎固めを着実に進めるフィリピン経済

～蘇るか『東洋の真珠』～ 阿南鉄朗

http://www.iima.or.jp/Docs/newsletter/2016/NL2016No_21_j.pdf

今後のフィリピンについては、ドゥテルテ新大統領の発言や行動のため懸念する見方もある。一方、経済については、アセアン主要国の中でも比較的良好であり、かつて言われた「東洋の真珠」の復活の可能性は十分ある。

5. 「動きが見えないニカラグア運河建設計画」 森川央

http://www.iima.or.jp/Docs/topics/2016/291_j.pdf

ニカラグアにパナマ運河を上回る運河を建設する計画があるが、具体的な工事の進捗状況は不明だ。ニカラグアへの支援国ベネズエラの経済危機、中国経済の減速が、建設を大幅に遅らせる可能性があり、事態を見守る必要がある。

11月11日、南部アフリカ地域の開発金融機関の職員や経済官僚を対象とした研修が終了しました。これは、JICAが主催しIIMAが事務局機能を担う事業の一つで、日本やアジアの経済発展における開発金融の役割に焦点が置かれました。3週間の研修では、講義に加え視察旅行も行われ、アフリカからの研修参加者と複数名のIIMA所員がかつて世界銀行の融資事業が集中した名古屋へ出かけ、東海道新幹線の乗車、中部電力の新名古屋火力発電所や愛知用水の見学などを行いました。研修参加者はこれらを踏まえ、自身の金融機関の運営能力を向上させることが期待されます。このように、IIMAは調査研究の成果や調査研究を通じて構築されたネットワークを基礎に経済・金融の安定と発展に貢献して参ります。

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/maimagazine.html>

【次号】

2016年12月13日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧にはAdobe Readerが必要です。

Adobe Readerのダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◇発行◇

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-3-2 三菱東京UFJ銀行日本橋別館12階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.